

大隅路(垂水~鹿屋)を快走



春の陽気に誘われて行楽気分が高まってきた。最大10連休となるゴールデンウィークも近づく。鹿児島県が「景観良し、道良し、うまいものあり」として、大隅半島のサイクリングを推す動画を公開しているのを発見。3月末、ロードバイクを携えて鹿児島市から海を渡った。さあ、自転車でGO! (園田尚志)

海岸沿いの景観、美味を満喫

「自転車の聖地、道と食案内」と題する動画に合わせ、垂水市の垂水港フェリーターミナルを出発して国道220号を北上、道の駅たるみずで折り返し、鹿屋市の体験型宿泊施設「ユクサおおすみ海の学校」(菅原小学校跡地)まで走る。

ロードバイクは鹿児島市の専門店「鹿児島FunRide」でレンタルした(1日2500円、ヘルメット500円)。ユクサおおすみ内に支店があり、相互にレンタル、返却できるので便利だ。

「気持ちいい」テンション

午前10時すぎにスタート。時速約13キロと比較的ゆっくりとこぎ始めた。通勤用の「ママチャリ」よりもタイヤが細くて硬く、振動がはつきりと伝わってくる。交通量がやや多い垂水の街を抜けると、少しずつスピードを上げた。「気持ちいい」。同行した息子のテンションも上がった。

管むマミーズカフェへ。観光客や地元の子クリストと談笑した後、濃厚な焼き芋シェイク(400円)でエネルギーを補充し、南へと向かう。慣れたきたのか、路面とタイヤの摩擦音に耳を澄ます余裕ができた。風を切る感覚もそう快だ。フェリーターミナルを越えて垂水市新城付近の海岸線に現れるアコウ並木にも南国ムードを感じられる。急な坂がそれほどのないのもうれしい。走りやすいのか、サイクリングを楽しむ人たちと何度もすれ違った。

かんぱち漬け井かき揚げ味わう

ペダルをこぎ続けて鹿屋市に。漁協直営のみなど食堂に到着した。かんぱちの漬け井(550円)とヒメアマエビのかき揚げ井(550円)など海の幸で腹を満たす。食堂を後にして20分ほどすると、

砂浜に建った鳥居が目立つ荒平天神に着いた。海の青さにしばし見とれ、波打ち際で遊ぶ。荒平天神の先には目標地点のユクサおおすみ海の学校



美しい眺めの荒平天神 鹿屋市



が見えている。最後の坂を上って到着したのは午後3時だった。

自転車の取り付けた計測器を確認すると、出発からの5時間弱のうち

走行時間は2時間24分。走行距離は45.2キロ、平均速度は18.8キロ、最高速度は39.2キロ。写真撮影など自転車を降りて押した分もあるのですが、平均速度はもう少し上がりそう。通行する車の危険やストレスを感じるこのほとんどない旅だった。

鹿児島「ゴーおおすみ」

鹿児島県は「GO! OH! SUMI(ゴーおおすみ)」プロジェクトとして、大隅半島のアウトドアの魅力を紹介する動画を公開している。「道路が整備されている一方で、車が混んでいない」という点に着目。サイクリングとバイクツーリングを対象を絞り、景観や立ち寄りス

ポットを紹介している。車で巡る「家族の遊びとキャンプ旅」もある。

これら動画では、整備が完了した佐多岬、大河ドラマで有名になった雄川の滝、本格的なゴーカートを楽しめる県立大隅広域公園などが登場する。ゴールデンウィーク、夏休みの行き先候補として重宝しそうだ。「ゴーおおすみ」で検索。URLは<https://www.pref.kagoshima.jp/ao01/goohsumi.html>